

授業科目名・形態	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ 講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

相談援助の過程とそれに関わる知識と技術について理解する。相談援助の展開過程に沿いながら体系的な相談援助の過程を理解し、その過程で必要とされる契約・アセスメント・介入・モニタリングなどそれに伴う面接・記録・評価の技術について体系的に理解を深める。

【到達目標】

支援対象者への共感的理解を通して、対等性、相互関係性を大切にする援助者としての姿勢を培う。またこれまでの豊富な実践例をテキストの内容に当てはめ、理論の解説を講義の内容としたい。さらに国家試験をも視野に入れた講義も試みたい。

【授業計画・内容】

- 第 1回 総合的かつ包括的な支援の考え方
- 第 2回 非常時や災害時支援の実際
- 第 3回 援助関係形成の意義と概念
- 第 4回 援助関係形成方法と留意点
- 第 5回 ネットワーキングの形成
- 第 6回 コーデネーション
- 第 7回 社会資源の活用と調整
- 第 8回 社会資源開発の方法
- 第 9回 カンファレンスの意義と運営方法
- 第10回 ミクロ、メゾ、マクロの会議
- 第11回 ネゴシエーション
- 第12回 コンフリクト・レゾリューション
- 第13回 ファシリテーション
- 第14回 プレゼンテーション
- 第15回 ソーシャルマーケティング・まとめ

【授業実施方法】

講義形式

【授業準備】

事前に教科書を読んでおくこと

【主な関連科目】

ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅲ

【教科書等】

最新社会福祉養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）中央法規

【参考文献】

随時、講義の中で紹介する

【成績評価方法】

筆記試験80%、授業態度20%により総合的に判断する

【実践経験及び実務を活かした授業内容】

40年以上の実務経験で様々な相談援助を実践しており、あらゆる場面を想定し学生がどのように対応するかを考える機会を提示したい

【学生へのメッセージ】

本講義は社会福祉専門職の視座、技術、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である。社会福祉士を目指す学生は積極的かつ情熱的に知識の習得を目指してほしい。